

2022年6月吉日

会員各位

【期間延長】第72回全国学会大会の自由論題・テーマ分科会募集のお知らせ

既報の通り、2022年日本現代中国学会全国学会大会を、10月22日（土）・23日（日）の両日開催するため、自由論題・テーマ分科会の報告者を募集して参りましたが、応募数が大変少ないため、追加募集を行うことと致します。〆切は7月11日（月）と致します。

なお、会場はオンライン開催を前提として準備を進めております（7月下旬までに最終決定する予定です）ので、全国から参加が容易にできます。次ページ以下の応募要項をご覧ください、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、今大会の共通論題は「日中国交正常化50周年：日中関係の総点検と今後の展望」です。

2022年は、日中国交正常化50周年に当たります。過去半世紀にわたり、日中関係は国際関係と両国の国内ダイナミズムの変化とともに変遷してきました。また、2022年7月には日本で参院選、秋には中国共産党の第20回大会が開かれる予定で、11月には米国の中間選挙もあります。このような日中米の重要な政治日程が続くなか、日中関係の行方もさらに注目されています。本年の全国大会の共通論題テーマは『日中国交正常化50周年：日中関係の総点検と今後の展望』です。問題意識は、1972年国交正常化以来の半世紀の日中関係の経験と教訓を多層的に知的・政策的に総点検し、これからの50年の日中関係の健全な発展のための知的再構築を試みます。中国と日本の国内政治と国際関係、特に米国要因の視座を取り入れ、理論研究、地域研究、歴史研究の学問的な融合を図ります。

共通論題は二部によって構成されます。第一部は、日中米それぞれ一名の代表的な識者による基調講演です。毛里和子先生は中国政治外交の側面から日中関係を長年研究されており、日本の中国政治外交研究者の視座からご講演頂きます。楊伯江先生は日本政治外交の側面から日中関係を長年研究されており、中国の日本政治外交研究者の視座からご講演頂きます。Susan Shirk先生は、長年にわたり中国研究に従事してきた専門家であると同時に、北東アジア国際関係全般を研究されており、またクリントン政権の高官も務めたご経験から、知の創造者・知の消費者の両面における米国の視点からご講演頂きます。第二部は、理論、地域研究、歴史などの学問の融合の視点から研究者の議論を深め、今後の日中関係に関連する研究の拡大と深化、そして日中関係の展望と提案を共に考えます。会員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げております。

応 募 要 項

自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を以下のように募集します。事務的混乱を避けるために、やや煩瑣なご依頼事項を列挙しておりますことをお許しく下さい。

①自由論題での報告（一人の報告時間は25分程度）をご希望の会員は、氏名・所属・報告テーマおよび要旨（800字程度）を下記⑩の連絡先までお送りください。

なお、大学院生は指導教員、またはそれに相当する会員の推薦状（推薦者の氏名、所属、連絡先、推薦理由を記載。書式は自由）が必要です。報告者は会員でなければなりません（非会員の場合は下記⑤を参照）。

②テーマ分科会の開催（報告者2～3名、約2時間）をご希望の会員は、企画者の氏名と所属、企画テーマ、討論者の氏名と所属、司会者の氏名と所属を確定したうえで、下記⑩の申込先までお送りください。分科会は原則として会員で構成するものとし、エントリー後のメンバーの変更はできません。確認のため、報告者、討論者、司会者が会員であるかどうかを明記してください。

③自由論題およびテーマ分科会の応募に関するご連絡は、すべて電子メールでお願いします。その場合、ウィルス感染防止のため、添付ファイルは使用せず、メール本文にテキストで記載してください。なお、推薦状も原則としてメールで作成し、応募者はそれを転送するかたち（メール本文にペースト）としてください。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

④締め切りは~~6月17日（金）~~→7月11日（月）とします。

⑤学会非会員の方で、自由論題での報告をご希望の方は、入会が応募の条件となります。入会申請をしていただいたうえで（日本現代中国学会のウェブサイト <http://www.genchugakkai.com/nyukai.html> を参照）、ご応募ください。入会手続きが報告発表までに完了しない場合でも、応募済みであれば発表は可能です。

⑥大会参加の旅費および宿泊費等は自己負担となります。

⑦報告希望者、テーマ分科会開催希望が多数に上る場合は、内容や会員歴などをふまえて調整させていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

⑧応募をされた方には、メールにて実行委員会より応募受理の連絡をいたします。メールを送信した後、1週間以内に連絡がないときは、再度メールにてお問い合わせください。

⑨自由論題報告者は、大会10日前の10月12日（水）までに報告原稿またはレジюмеを実行委員会まで提出してください。なお、パワーポイント等の機器使用を希望される場合は申し込み時に必ず明記してください。

⑩応募申込先は、以下の実行委員会メールアドレスです。

genchu2022@gmail.com

⑪応募のメール送信をする際、件名を以下のようにしてください。

*自由論題への応募の場合は「自由論題」

*テーマ分科会応募の場合は「テーマ分科会」

この機会に当学会未加入の優秀な大学院生の皆様にも、ぜひ入会と報告発表をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

日本現代中国学会第72回全国学術大会
実行委員会事務局（倉田徹研究室）